

## 倶多楽の火山活動解説資料（平成 23 年 12 月）

札幌管区気象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。  
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

## ○ 活動概況

## ・ 噴気などの表面現象の状況（図 1-①、図 2～4）

日和山山頂爆裂火口の噴気の高さは火口縁上 50m 以下で、噴気活動は低調に経過しました。  
8 日に実施した現地調査では、大正地獄は満水状態で少量の熱水流出が続いていました。  
2007 年以降泥混じりの熱湯の噴出が時々発生していますが、この現象は局所的なものであり、火山活動の活発化に直接つながるものではないと考えられます。

## ・ 地震及び微動の発生状況（図 1-②）

今期間火山性地震は観測されず、地震活動は低調に経過しました。  
火山性微動は観測されませんでした。

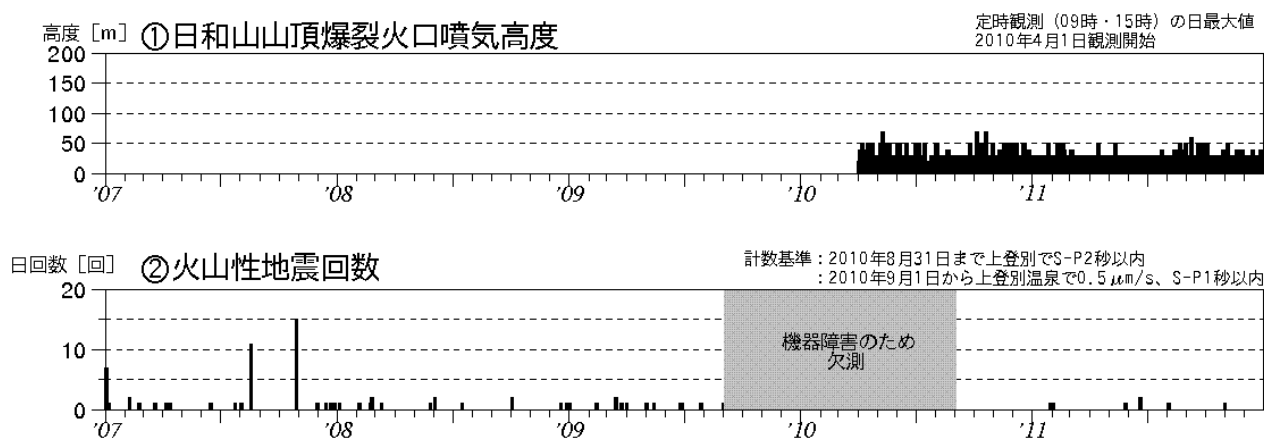


図 1 倶多楽 火山活動経過図（2007 年 1 月～2011 年 12 月）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

※資料は気象庁のほか、北海道大学のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。また、同院発行の『数値地図 25000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平 23 情復、第 492 号）。

次回の火山活動解説資料（平成 24 年 1 月分）は平成 24 年 2 月 8 日に発表する予定です。



図2 倶多楽 日和山・地獄谷周辺図



図3 倶多楽 大正地獄の状況



図4 倶多楽 日和山、大湯沼及び地獄谷周辺の状況  
(12月9日、414m山遠望カメラによる)

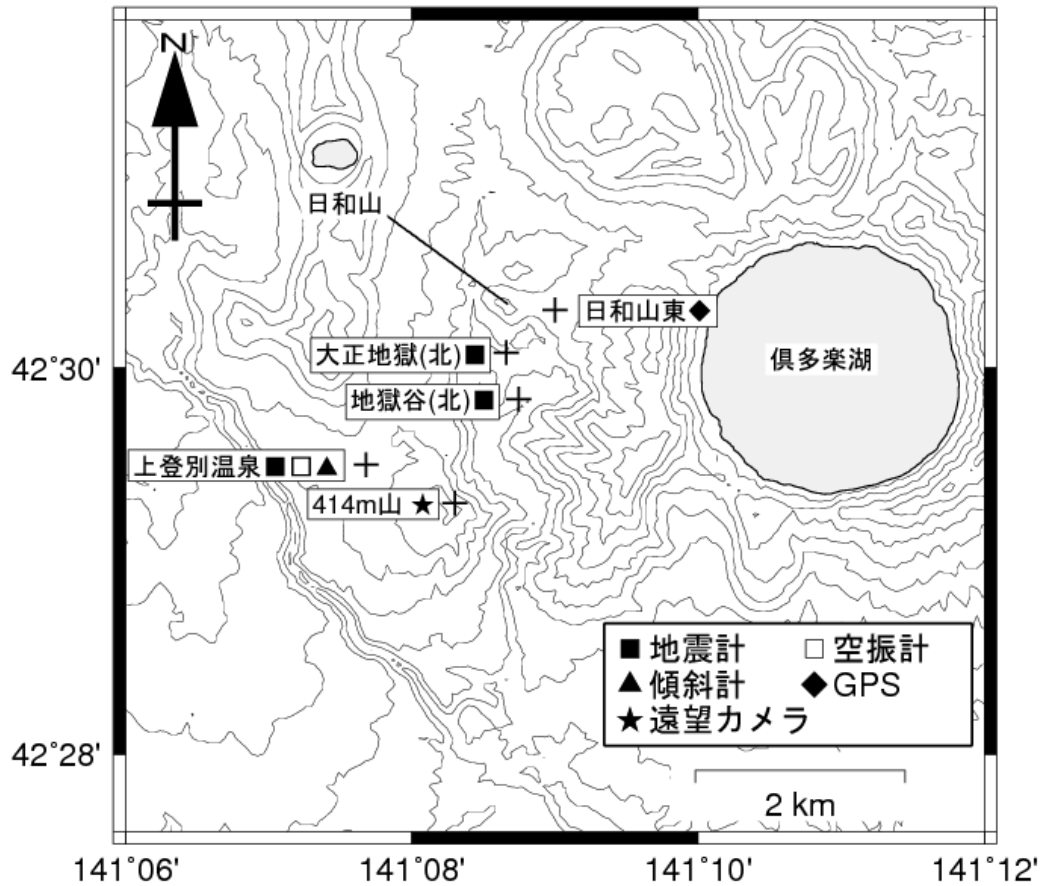


図5 倶多楽 観測点配置図

＋は観測点の位置を示します

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています

(北)：北海道大学